

2018年度ユニーク卒論

社会 学部

担当教員名	野瀬 正治
論文執筆者名	米田 隆太
論文の題 (テーマ)	働きやすい労働環境の研究 —労働問題と心理的安全性の視点から—
簡単な内容 (概要)	<p>本論文では、部活動での経験から、企業においても良好な人間関係や意見が言い合える環境があれば、労働問題も減少し、生産性も上がると考え、まず職場の労働問題の実態を把握し、それらの問題発生の未然防止と生産性向上に、グーグル社のプロジェクト「アリストテレス」の概念である「心理的安全性」を援用するものである。</p> <p>具体的には、人として信頼される言行を心掛け、いい時には褒め合う、悪い時には相手のために思って指摘し合える関係を構築することにより、人間関係のトラブルや、セクハラ・パワハラ、労働問題が起きにくくなり、快適な労働環境を形成することにつながるとしている。</p>
推薦の理由	<p>本論文は、体育会サッカー部に所属し、Cチームのキャプテンであった筆者の実体験を基に、未経験であるが労働問題を職場の社会関係として捉えなおして、問題が複雑化する前に、新たな概念であるグーグル社プロジェクトの「心理的安全性」により説明している点がユニークである。</p> <p>すなわち、職場における労働環境は、「仕事というより職場で働く労働者を取り巻く状況が大きく影響し、物理的な環境だけでなく、むしろ心理的な環境が重要」とし、心理的な環境をグーグル社の新たな概念「心理的安全性」として捉えなおして、社員一人ひとりが安心して、自分が自分らしく職場で働くことができ、また、自己認識・自己開示・自己表現を豊かに実践できることを通して自分らしく働ける取り組み（心理的安全性の確保）が肝要としている。</p> <p>これらの点を体育会サッカー部でのリーダー経験を基に論じている点が優れている。</p>